

こども計画点検シート（令和7年度実績・令和8年度指針）

資料2

委員からの質問・意見に対する回答

	施策	こども計画点検シート			質問・意見	回答	担当課
		基本目標	基本施策	ページ			
1	運動部活動の支援	1 未来へつながる こども・若者が主役のまち	(3)生きる力を育む教育の充実 ③健やかな体を育む教育の充実	6	全国で部活動の地域移行が進められています。運動部だけでなく文化部も含め、地域移行の現状（現在は運動部活動指導員 3 名配置とありますが）と今後の見通しについてお聞きしたい。	地域人材として部活動指導員を 5 名配置予定。地域展開は令和 7 年度に 6 種目 1 0 活動実施している。 今後は、令和 1 3 年度までに全ての休日の部活動を地域に展開していく。	学校教育課
2	教育支援センターの開設	1 未来へつながる こども・若者が主役のまち	(3)生きる力を育む教育の充実 ④教育支援体制の充実	9	現在、さわやか教室は国体記念体育館内にあり、大会があった時に体育館が使われているとさわやか教室にきても、生徒たちがいて中に入れないということがあったそうです。 体育館の玄関を通らないでさわやか教室に入れるような手立てをすることは可能でしょうか。	施設の構造上、中央の玄関を通っての入室となります。 利用する児童生徒の特性を踏まえた上で、入室しやすい時間帯などを個別に相談するなどの対応が必要となっています。	学校教育課
3	教育支援センターの開設	1 未来へつながる こども・若者が主役のまち	(3)生きる力を育む教育の充実 ④教育支援体制の充実	9	不登校児童生徒数が12年連続で増加しているという情報があります。市では不登校の児童生徒のため教育支援センター「さわやか教室」を開設していますが、利用者は決して多くないように聞いています。 利用者が少ない要因はどこにあるのでしょうか。（例えば、保護者の送迎が必要であることや設置場所の問題など）そして、利用しやすいようにするためにどのような手だてを考えているのでしょうか。	現在通級している小中学生は 4 名（小学生 2 名、中学生 2 名）であり、個別の対応が必要であるため、通級の時間を設定して支援をしている。 体験（見学）も受け入れている。通級に至らない要因についてはいくつもの要因が考えられる。 個別のニーズに対応するた学校や保護者との相談や情報共有を行っており、今後も取組の周知を継続して利用の促進を図っていく。	学校教育課

	施策	こども計画点検シート			質問・意見	回答	担当課
		基本目標	基本施策	ページ			
4	学校経営の充実	1 未来へつながる こども・若者が主役のまち	(3)生きる力を育む教育の充実 ⑤教育環境の充実	11	全国的に教員不足が懸念されています。白河市の小中学校の教員配置については産休や病休の補充も含めて欠員が生じている学校（定数未配置の学校）はないのでしょうか。 欠員がある場合どのように対応しているのでしょうか。	4月の年度当初に市内の小・中学校での欠員はありませんでした。 学期途中の病休等による欠員が生じる期間がありましたが、2学期にはその補充教員が配置され欠員はなくなります。 欠員がある場合、研修主任や教務主任が学級担任を務めるなど、学校組織全体でその補完にあたり対応をしています。	学校教育課
5	教職員の資質の向上	1 未来へつながる こども・若者が主役のまち	(3)生きる力を育む教育の充実 ⑤教育環境の充実	12	研究公開を実施し、その評価は学校教育課の皆様や、先生方が評価されると思いますが、この評価方法や結果等は保護者の方々や興味を関している方々には周知されないのでしょうか。 教育基準は決まっていると思いますが、先生方に子どもを預けて教育をお願いしている親御さんたちにも共有してもいいのではないかなと思います。	各学校では、教職員の授業力向上や授業改善のために研究主題を設定して研修に取り組んでいます。計画から実践、評価まで各学校で行い、研究公開で、研修の成果を市内の学校に共有しています。 校内研究の評価や教育基準はありませんが、保護者の方々には、参観日等に授業の様子を参観していただければと思います。	学校教育課
6	特別支援教育の推進	5 支援が必要なこども・若者・子育て当事者も希望を叶えるまち	(3)障がい児施策の充実	73	発達障がいと診断されている児童、生徒が増加傾向にあります。 そこで教育や療育に特別なニーズのあるこどもについて教員の資質向上のために研修の機会を設けるとあり、支援員研修会や特別支援学級担任研修会が開催されていますが、どのような研修会なのか具体的な内容について教えて頂きたい。（例えば障がい特性についてなど）	特別支援教育に関する研修は年3回（R8は担当教員2回、支援員1回）実施しています。 4月には特別支援教育の支援員に対して、児童・生徒への関わり方や、愛着障がいとADHDの特性の違い、見極め方についての研修会を開催しました。 5月には担当教員の研修会を開催し、子どもの困り感を理解し、その背景や要因から支援の仕方を考えていくことについて研修を深めました。	学校教育課
7	私立幼稚園・認定こども園への振興助成	1 未来へつながる こども・若者が主役のまち	(3)生きる力を育む教育の充実 ⑥幼児教育の推進	14	引き続き助成をお願いしたく、物価高騰や少子化対策を含め、白河市の子育て家庭へのさらなるサポートを充実させていけるようご検討お願いしたい。	私立幼稚園等におかれましては、それぞれの特色を生かした教育・保育の提供や子育て支援など、本市の幼児教育・保育行政の推進に多大なるご協力をいただきしており、私立幼稚園等振興助成補助金につきましては、今後も継続できるよう予算の確保に努めてまいります。 また、物価高騰への対応につきましては、これまでも国の補正予算等を活用しながら必要な支援を実施してきたところであり、今後につきましても、国の財政支援の動向を注視しつつ、財源の確保を踏まえながら必要に応じて適切な支援策を検討してまいります。	こども育成課

	施策	こども計画点検シート			質問・意見	回答	担当課
		基本目標	基本施策	ページ			
8	子育て支援・地域活動事業	1 未来へつながる こども・若者が主役のまち	(5)家庭・地域の教育力の向上 ①家庭教育の推進	21	充実した内容にする為、市のサポートをいただき、子育てしやすい環境を提供していきたいと思っている。	子育て支援事業につきましては、園ごとにバラつきはあるものの、多くの保護者に参加いただいております。未就園児とその保護者が安心して交流し、子育てに関する相談や情報交換を行うことができる貴重な場を提供いただいていると認識しております。 本事業は今後も継続して実施していく考えでありますが、新たな支援につきましては、限られた財源の中で事業全体の均衡を図る必要があることから、現時点での拡充は難しい状況です。 今後も、事業の継続を図るとともに、国や県の動向も注視しながら、必要な支援について検討してまいります。	こども育成課
9	こども誰でも通園事業	3 子育てを応援するまち	(1)保育・子育て支援サービス等の充実 ①教育・保育サービスの充実	39	現在までの実績を教えてください。（令和8年4月～）	令和8年4月から開始した「こども誰でも通園制度」の利用実績につきましては、令和8年7月20日現在において利用者は0人となっております。 本市では制度開始以前から多様な保育ニーズに対応するため、「一時預かり事業」を実施しており、利用料金や利用時間などの面で非常に利用しやすい制度として定着していることが、一因であると考えております。 今後も、「こども誰でも通園制度」と「一時預かり事業」の双方の特性を踏まえながら、保護者にとって利用しやすい保育サービスの提供に努めてまいります。	こども育成課
10	少子化対策の推進	1 未来へつながる こども・若者が主役のまち	(1)将来に明るい希望が持てる地域社会の実現	1	白河市など福島県全体で人口減少が進む中、隣接する西郷村では前回調査時より2%増加した（子ども人口も多い）とのこと。 様々な要因があると思われますが、市ではその大きな要因が何で、どのように改善していこうとしているのでしょうか。	人口の増減は、主に「自然増減（出生数と死亡数の差）」と「社会増減（転入数と転出数の差）」の二つの要素によって生じます。 これらには、経済状況や住宅事情、雇用環境、交通利便性、医療・子育て環境など、様々な要因が複合的に影響しているものと考えております。 本市では、人口動向や合計特殊出生率、出生数の推移、出生時の母親の年齢などについて分析を行った結果、若年層人口の減少や出生年齢の高年齢化が進行していることに加え、住宅取得等を契機とした子育て世代の市外流出も人口減少の一因となっている可能性があると考えております。 このため、今後は、若い世代が安心して結婚・出産・子育てを選択できる環境づくりを進めるとともに、本市の子育て支援の魅力や価値を効果的に発信し、出生数の回復と移住・定住につながる施策を検討してまいります。	こども支援課

	施策	こども計画点検シート			質問・意見	回答	担当課
		基本目標	基本施策	ページ			
11	出生祝い名入り 白河だるまプレ ゼント事業	3 子育てを応援 するまち	(4)まちぐるみで子育 てを応援する取り組 みの推進 ②子育てに関する意識 の啓発と家庭・地域で の男女共同参画の推進	52	なぜだるまなのか。勿論、渡辺・佐川両社使 われるのでしょうか。	白河だるまは、本市を代表する伝統工芸品であり、顔には鶴・亀・松・竹・梅が描かれ、古くから幸福や健やかな成長を願う縁起物として親しまれています。 本事業は、赤ちゃんの誕生を市全体で祝福するとともに、成長した後も生まれたときに市から贈られた特別なだるまとして大切な思い出となり、郷土への愛着や誇りを育んでいただきたいという思いを込めて実施しております。 また、贈呈する白河だるまは、市内の白河だるま製造事業者である渡辺だるま店及び佐川だるま製造所の両事業者に製作をお願いしております。	こども支援課
12	こどもの声を生 かしたまちづく りの推進	1 未来へつなが る こども・若 者が主役のまち	(6)こども・若者の意 見表明の機会の充実 ②こども・若者の声を 生かしたまちづくりの 推進	23	こども・若者の意見や要望を反映されている市 政や施策とは何でしょうか。 反映されているのであればもっと大体的にPRし てもよいのではないのでしょうか。 また子ども・若者の定義、年齢とはどこまでで しょうか。	こども・若者の意見や要望の反映につきましては、昨年度からおおむね18歳までを対象とした意見箱を設置し、寄せられた意見を今後の施策検討の参考にすることとしております。 また、施策や取組については、市ホームページや広報紙、SNSなどを活用し、より分かりやすく情報発信してまいります。 なお、本市では、「こども」は18歳未満を基本としつつ、切れ目のない支援を重視しております。「若者」についてはおおむね30歳までを基本とし、施策の内容に応じて39歳までを対象としております。	関係各課 (こども支援課)
13	一時預かり保育 事業	3 子育てを応援 するまち	(1)保育・子育て支援 サービス等の充実 ①教育・保育サービス の充実	39	令和9年度に開所する複合施設内の子育て支援センター（仮称）において一時預かり等の事業も行われるとのことですが、子育て支援センターの大まかな業務・事業内容について教えていただきたい。	令和9年度に開所予定の複合施設内の子育て支援センター（白河市キッズプラザ）では、これまで市内各所で実施してきた子育て支援機能を集約し、子育て世帯の交流や相談、子育ての負担軽減につながる総合的な支援を行う予定です。 具体的には、屋内遊び場や子育てひろばによる親子の交流の場の提供、ファミリー・サポート・センター事業や家庭訪問型子育て支援事業、一時預かり事業による子育て支援、利用者支援事業による相談支援などを実施し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援の充実を図ってまいります。	こども支援課

	施策	こども計画点検シート			質問・意見	回答	担当課
		基本目標	基本施策	ページ			
14	放課後児童健全育成事業	3 子育てを応援するまち	(1)保育・子育て支援サービス等の充実 ①教育・保育サービスの充実	38	児童クラブの運営が市から業者に委託されましたが、その業者委託になった経緯と現在の児童クラブの課題は何かを教えてください。（先日の報道で待機児童が20数名とありました。その対応も含めて）	児童クラブの運営については、従来の「安全な預かり」に加え、民間独自のノウハウによる「保育の質の向上」と「安定的な運営体制の構築」を図るために民間委託としたものです。 課題としては、待機児童の問題があります。その解消に向け、児童クラブとして活用できる教室が無いかを待機児童が生じている学校と調整しているところです。	教育総務課
15	防犯灯・街路灯の設置	4安全安心で快適に育ち、暮らすまち	(2)安全・安心のまちづくりの推進 ②地域安全活動の推進	61	市では犯罪を未然に防止する環境づくりのために防犯灯や街路灯の設置や適正管理に勤めていますが、抑止力にもなりまた万が一の際に役立つと言われている防犯カメラの設置についてはどのような計画があるのでしょうか。	現在、犯罪抑止を目的とした防犯カメラの設置計画はありません。 道路管理者としては、道路利用者の安全確保や通行環境の維持を目的として、防犯灯や街路灯の設置・適正な維持管理を行っていますが、犯罪抑止を目的とした防犯カメラの設置は実施していません。	道路河川課
16	【その他】				昨今西郷村の子育てに対する助成が手厚いという話をよく耳にします。西郷と白河は自治体の違い財政も違うため比較するべきではないと思っておりますが、白河から様々な事情で西郷に移住される方がいることも事実です。 そこを鑑みてなにか今後の手立てはあるのでしょうか。もし比較できる参考の助成金の事案等もお示ししていただければ幸いです。	本市では、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を行っており、白河っ子すくすく応援クーポン券や遠方出産支援などの施策を実施しております。 また、経済的支援に加え、児童育成支援拠点事業や地域子育て支援拠点の整備など、日常の子育てを支えるサービスの充実にも努め、多様な子育て支援を通じて、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでおります。 子育て支援施策は、各自治体が地域の実情や財政状況を踏まえて実施しているものではありませんが、本市においても、国や県の制度、近隣自治体の取組、市民ニーズなどを踏まえながら、より効果的な子育て支援施策の充実に努めてまいります。	こども支援課